

## IVR 日本支部運営委員会議事録

日時：2020 年 1 月 11 日（土）10 時 00 分～13 時 40 分

場所：同支社大学今出川キャンパス光塩館

出席：宇佐美誠（支部長）、戒能通弘、郭舜、川瀬貴之（会計）、高橋洋城、土井崇弘、野崎亜紀子、横濱竜也、米村幸太郎、足立英彦（事務局長）

オブザーバー：瀧川裕英（IVR 理事）

### 報告・審議事項

#### 1. 前回議事録の承認

原案の 3. の末尾に「(ただし予約は半年前)」を追加した上で承認された。

#### 2. IVR 理事会について

瀧川 IVR 理事より、前回運営委員会以降については特に報告すべき動きはない、また、次回の理事会は 4 月にルーマニアで開催されるという発言があった。

#### 3. 第 2 回 IVR Japan 国際会議について

以下の点について確認した。

- 1 月 15 日までに CFP を確定する。文案は宇佐美支部長に一任する。
- publication 論文の単語数は前回と同様に 4,000～6,000 単語とする。
- 4 月 15 日までに提出を求める Abstract は 400 単語を上限とし(前回は 500 単語)、下限は明記しない。
- Abstract の投稿・査読・参加登録・支払いのために Easy chair の professional license を利用する。
- publication 論文のテーマは前回会議では会議テーマに関連するものに限定したが、今回は CFP と同様、会議テーマ (East meets west.) に関連するものを歓迎するが、それに限定しないこととする。
- 前回会議で二十一世紀文化学術財団 (The Kikawada Foundation) の援助を受けた事、IVR 神戸大会以来の神戸レクチャーの経緯等を説明する文章を Web に載せる。
- 神戸レクチャーが日本法哲学会と共催であることを日本語フライヤー等に明記する。
- 日本法哲学会理事会に対して、IVR 日本支部国際会議も法哲学会との共催にすることを提案する。
- 横浜国立大学を会場とする。
- 神戸レクチャーの日本語フライヤーを作成し、各地の研究会幹事等に周知を依頼する。
- 神戸レクチャーの講演原稿の日本語訳を作成し、当日配布する。そのため、講師の

Bell 氏に会議当日の 1 か月前までに原稿を送付するよう依頼する。

- 神戸レクチャーで日本語による質問を受け付けるか否かについて検討したが、IVR 日本支部国際会議の行事の一部でもあるため、日本語での質問は受け付けないこととした。

#### 4. 新入会員／退会者の承認

川瀬会計担当委員より 7 名の入会申請があった旨報告があり承認した。なお、会費未納による自然退会者の再入会については、以前の未納分＋再入会初年度の会費納入を求めることとした。また、1 名が退会した旨報告があり、さらに 1 名より 2018 年度に退会を申し出たとの連絡があり、議事録等で確認することとした。

#### 5. その他

とくになし